



国際情報学院中だより

No. 2 令和8年5月29日



教育目標：共生の精神をもち、主体的に力強く生きる人間の育成

校訓：明朗 礼節 進取 自律



台湾・三民国民中学校との交流を実施

～国境を越えた出会いと学び、生徒たちの成長が見られた2日間でした～

5月21日(木)、22日(金)の2日間、台湾・三民国民中学校の皆さんを本校に迎え、国際交流活動を実施しました。交流当日は、全校生徒から歓迎の気持ちがあふれ、出迎えから見送りまで校内全体が温かい雰囲気になっていました。普段は控えめな印象の生徒も笑顔で積極的に声を掛けたり相手を気遣ったりする姿が見られ、KJ生の優しさやおもてなしの心が随所に感じられる2日間となりました。

3年生は2日間にわたりバディとして三民国民中学校の生徒と行動を共にしました。交流活動の中心となった「アドボカシーポスター活動」では、「絶滅危惧種」をテーマに、現状や絶滅に瀕している要因、自分たちにできることなどについて英語を交えながら話し合い、未来に向けた提案を共同でまとめました。言葉や文化の違いを越え、互いに考えを伝え合いながら一つの成果物を作り上げる姿は大変頼もしいものでした。2年生は日本文化体験活動において、生け花・茶道・体運動遊び等のプレゼンターやサポート役として活躍しました。英語で堂々と説明する姿や給食準備を支える姿には責任感と成長が感じられ、交流が円滑に進むよう陰で支える重要な役割を果たしてくれました。1年生も出迎えや見送り、体運動遊びの場面で大いに交流を盛り上げてくれました。自ら積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿が多く見られ、国際交流を楽しみながら新たな一歩を踏み出している様子が印象的でした。

本校の特色ある教育活動の一つである国際交流は、教室の学びだけでは得ることのできない、多くの気づきや成長の機会を生徒たちにもたらします。三民国民中のマンディ先生は、「**Reading ten thousand books is not as good as traveling ten thousand miles.** (一万冊の本を読むことも、一万里の旅をする経験には及ばない)」という言葉を紹介してくださいました。まさに今回の交流は、生徒たちにとって、実際に人と出会い、語り合い、協働する中で学びを深める貴重な経験になったことと思います。

今後もこのような機会を前向きに楽しみながら経験し、自分自身の将来につながる力へと変えていってほしいと願っています。ぜひ、ご家庭でも今回の交流を話題にしていただき、お子さんがどのようなことを感じ、何を学んだのか、話を聞いていただければ幸いです。



～当日の交流の様子～

